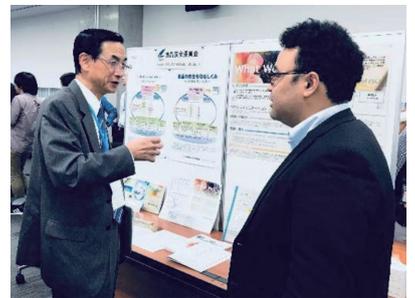


● 学術団体との連携

食品の安全性に関する科学的な知識の普及のためには、学術団体との連携が効果的であることから、関係する学会への参加（ブース展示）及び講演を実施しています。

学会名	委員等の講演
第65回 日本栄養改善学会学術総会 (9/4・5)	佐藤委員長 講演 「塩と健康をめぐる」
第39回 日本食品微生物学会学術総会 (9/27・28)	山本委員 講演 「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル ～鶏肉等における <i>Campylobacter jejuni/coli</i> ～」
Asian Pacific Prion Symposium 2018 (10/4・5)	事務局職員 講演 「FSCJ's Fact Sheet on CWD」(食品安全委員会のCWDに関するファクトシートについて)
第114回 日本食品衛生学会学術講演会 (11/15・16)	佐藤委員長 講演 「食品安全委員会における新しい食品健康影響評価の流れ」



食品健康影響評価事業等功労者大臣表彰



左から、熊谷氏、あかま副大臣、澤田氏

2018年9月27日、「平成30年度食品健康影響評価事業等功労者食品安全担当大臣表彰式」を開催しました。

この表彰は、食品の安全性に関し、食品健康影響評価事業等の推進に特に顕著な貢献をした方の功績を讃えるための制度で、今年度は、熊谷進氏（東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授）、澤田純一氏（（独）医薬品医療機器総合機構テクニカルエキスパート）が選ばれました。

あかま内閣府副大臣からは、「この分野で活躍されてきたことに敬意を表するとともに、食品の安全性は、私たちの生活に関わる極めて重要なテーマであり、食品健康影響評価事業は必要不可欠である」旨の挨拶を行いました。

宮腰大臣・左藤副大臣食品安全委員会ご挨拶

2018年10月23日、宮腰内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全担当）及び左藤内閣府副大臣が食品安全委員会を訪れ、委員会事務局の執務状況等を視察しました。また、食品安全委員会の委員と懇談し、委員会が果たすべき役割等について意見交換を行いました。

その後、第717回食品安全委員会会合に出席し、宮腰大臣は、冒頭の挨拶において、食品の安全性は、国民の最重要関心事項といっても過言ではなく、リスク評価を担っている食品安全委員会の重要性は、設立当時から増して増加していること、政務三役としても、食品安全行政に全力で取り組んでいく決意であることなどを述べました。

